『西風』第１１号を発刊＝移民問題やブラジル現状分析

No.11 - 2020
西　風

西風１１号表紙（表紙イラスト・田中慎二）

　西風会（せいふうかい）は4月に「西風」１１号（１８６頁）を刊行した。

　今回は西風会の座談会を３回分掲載。テーマは「現代の移民問題について」参加者９人、「ブラジルの現状と将来」参加者１０人、「海外に永住する日本人について」参加者８人が各テーマについて話し合った。

　１０号から続いて掲載、当紙でのおなじみの駒形秀雄さんによる「世界に冠たる日本（２）」では「日本人は優秀なのか」という疑問を戦後日本の高度成長や国勢表をもとに考察している。

　古杉征己さんの「推定無罪一番外編」では１９年１２月２９日の保釈中であったカルロス・ゴーン氏が不正出国し、後日記者会見で日本の司法制度を批判したことに着目し、ブラジル法下での受刑者の権利を取り上げている。

　本書では論文やエッセイ、小説、社会時評などの投稿も受付けており、掲載可否は同会が判断する。希望者には無料で配布する。発行部数は２００部。入手希望、投稿の連絡は中島宏さん（メール＝nakashima164@gmail.com）まで。

　同会は会員や有志が毎月１回集まり、様々なテーマについて議論する私的な研究会。体験談や調査内容をまとめ、年に２回、出版を行っている。